2024 年度　各授業学習目標・授業目標　　科目名：アート思考アドバンスト

高等部教育目標
イエス・キリストを通して、人と世界に仕える使命感と実力を養い、豊かな心と真摯な態度を備えた人格を培う
探究型カリキュラム教育/学習目標
SDGs の達成を目指し、Mastery for Service を体現する世界市民の一員として、国内外の社会に自ら関わり貢献できる力を育成する/身につける
探究型カリキュラムにおける 5 つの学びの方針　Five Principles for Learning
1. 自分事として　2. 社会/実践を通して　3.知識を大事に　4. ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝを通して　5.生徒・教員が共に <ｵｰﾅｰｼｯﾌﾟ/一人称>　<PBL 型/ｱｸｼｮﾝ>　<自ら得る知識/高める関心>　<自分/他者のやりとり>　<共に探究する関係性>
上位学習目標
【知識・技能】 ・アートの理解に必要な歴史的背景やモチーフ・技法・展示方法などを適切に用いることができる ・社会課題や哲学的言説について理解し、アートと関連させて説明することができる 【思考力・判断力・表現力】 ・アートを見て感じ取ること（＝感性）を通して社会課題を多角的にクリティカルに捉え、自分の考えを構築することができる ・物事に一つの解答を求めるのではなく、複雑なまま受け入れて熟考することができる ・自分自身の価値観やモノの見方を俯瞰し、他との関係性のなかで相対的に意味づけることができる 【学びに向かう力・人間性】 ・自分自身を通して自由に世の中を捉えることで、自分の未来の可能性を開いていくことができる ・他者の表現や言説を自分の価値観に照らして、主体的に想像することができる ・作家が内省を突き詰めて作品と対峙することを追体験することで、内在する自己の有りように向き合う姿勢を身につける
下位学習目標
【知識・技能】 ①アート思考と論理思考の違いを理解し、用語として使い分けることができる。 ②対話型鑑賞や作品分析に必要な情報を集め、目的に応じて選択することができる。 ③アートにまつわる哲学的言説や時事、歴史的事実などについて自分の言葉で語ることができる。 【思考力・判断力・表現力】 ①アートとそうでないものとの違いについて鑑賞者と作品との相対性やコンテクストによる関係性を意識して考察することができる。 ②一つのアート作品についての情報を総合し、自分なりの分析を施すことができる。 ③アートプロジェクトや文化政策、パブリックアート等を通してアートに関わる社会課題について推察し見通すことができる。 【学びに向かう力・人間性】 ①より多くのアート作品や文献に触れようとすることができる。 ②一つの作品やプロジェクトに関する学びに対して時間をかけることができる。 ③自らの考えを昇華させるために、他者とアートについて語り、互いの価値観を認める姿勢を身につける。

<table>
<tr><td>授業日</td><td>6/18(火)</td><td>１学期授業回数</td><td>７回目 / 全８回</td></tr>
<tr><td>本時
学習目標</td><td colspan="3">主なターゲット【知識・技能】　【思考力・判断力・表現力】【学びに向かう力・人間性】
本時の具体的な目標
・セカンダリーマーケット（転売市場）における具体的な事例を通して、アートの追及権と著作権の違いについて理解することができる。
・ジェネリックアート（偽物）が市場においてどのような位置づけをされているのか、また、そのことがオリジナルの作家にどのような影響を与えているのかを理解することができる。
・グループで話し合い、研究の計画を展望することができるとともに、自身がどのような役割を果たすべきであるのかを言語化することができる。</td></tr>
<tr><td>時間
授業内容</td><td>５時間目

６時間目</td><td colspan="2">『〈問い〉から始めるアート思考』を講読し、生徒によるプレゼンテーションを行った。
村上隆らによる「カイカイキキの訴訟」の具体例を挙げながら、日本におけるアーティストの追及権の問題に触れ、創作活動と経済性の両立といった課題について考察した。また、セカンダリーマーケットにおいて、転売ヤーによる喧伝がある特定のアートを流行の中に位置づけようとすることで、結果としてジェネリックアートとして、オリジナルの二番煎じとしての立場を強いられる例をあげながら、消費者とアートの問題について考察した。
各グループで「研究計画のプレゼン」を作成した。話し合いのセレンディピティ（偶発性）を活かしながらも、どこかで形にしなければならないので、一人一人が具体的にどのような研究・行動をとるべきかを自覚することにつながった。</td></tr>
<tr><td>評価方法</td><td colspan="3">①講読・プレゼン用のルーブリックに従って相互評価を行った。
また、記録と考察の欄は後日、別のルーブリックに基づいて評価する。
②グループ研究計画プレゼンの内容を評価する。</td></tr>
<tr><td>宿題指示</td><td colspan="3">・グループ研究計画のプレゼンを準備してくる</td></tr>
</table>